

平成 29 年度 岩手県立大野高等学校経営計画

校長名： 菅 原 一 成

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	対 象			
		児童・生徒	保護者	地域住民	他 (ex. 進路先)
	(2) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した学校生活</li> <li>・進路希望の実現</li> <li>・確かな学力の習得</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望の実現</li> <li>・部活動の充実</li> <li>・確かな学力の習得</li> </ul>			
(3) パートナーとの関係	パートナ－				
	PTA	教育委員会	地 域		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動への協力と支援</li> <li>・家庭との緊密な連携</li> <li>・学校評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営への支援</li> <li>・授業力向上への指導助言</li> <li>・教育環境整備への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋野町の財政支援</li> <li>・東京つばさ会の財政支援</li> <li>・同窓会の教育活動支援</li> <li>・里山整備やイベント協力</li> </ul>		
2 目指す学校像	<p style="text-align: center;"><b>校 是 ～ 誠 意 ・ 進 取 ・ 創 造 ～</b></p> <p>教育目標 「知・徳・体の調和のとれた心身ともに健全な人間の育成を期し、生徒の持つ優れた素質と能力を十分に開発伸長させ、地域社会の発展に寄与する人材の育成を図る。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 生徒に基礎基本を定着させ、確かな学力の育成をめざす学校。</li> <li>◎ キャリア教育を通して生徒に生きる力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する学校。</li> <li>◎ 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する学校。</li> </ul>				
3 今後の取組方針  【H29 重点目標】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域や学校の課題を踏まえ、教職員が協働して学校経営に参加する。 学年・分掌・教科間が互いに連携し、学校課題を踏まえて協働して学校経営に参画する意識を持つ。</li> <li>2 生徒に基礎基本を定着させ、確かな学力の育成を目指す。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) わかりやすい授業に努め、朝学習の計画的な指導や授業改善により基礎的基本的学力の定着を目指す。</li> <li>(2) 生徒個々の特徴を把握し、観点別評価を踏まえて生徒の「進歩」を積極的に評価する。</li> <li>(3) 授業と家庭学習を連動させ、学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む生徒を育成する。</li> </ol> </li> <li>3 キャリア教育を通して生徒に生きる力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の発達段階に応じて、将来社会人・職業人として自立して生きるために必要な資質・能力の育成に努める。</li> <li>(2) 生徒の進路目標の実現のための進路研究に努め、個に応じた適切な進路指導を実践する。</li> <li>(3) インターンシップや総合学習等を通じて、主体的に進路を選択し、決定できる能力を育てる。</li> </ol> </li> <li>4 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本校伝統の挨拶の良さを維持し、自他の生命とお互いの人権を尊重し、大切に明るい学校づくりに努める。</li> <li>(2) 「いきる・かかわる・そなえる」の視点に立ち、行政、家庭・地域と連携し、震災風化の防止と地域防災の担い手の育成を目指す。</li> <li>(3) 地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚と、自己有用感を持って地域の活性化に貢献する人材を育成する。</li> </ol> </li> <li>5 安心安全な教育環境のもと、生徒一人ひとりを大切にする。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の困り感を把握し、総ての教職員が親身になって話を聞く姿勢を持つ。</li> <li>(2) 生徒の心と体の健康状態に配慮し、安心安全な教育環境づくりを推進する。</li> <li>(3) 学校からの情報発信を通じて、学校の取組について広くアピールする。</li> </ol> </li> </ol>				

**【平成 29 年度の数値目標】**

**◎ 学力向上**

- (1) 意識調査で教科の授業の内容がわかると答えている割合 → 国数英の平均 70% ※H28 ( 67.9% )
- (2) 基礎力確認調査 2 年 数学 A 正答率 50%の生徒の割合 → 25% ※H28 ( 16.7% )
- (3) 数学 B 正答率 60%の生徒の割合 → 70% ※H28 ( 41.7% )
- (4) 英語 正答率 50%の生徒の割合 → 35% ※H28 ( 31.5% )
- (5) 基礎力確認調査で家庭学習 1 時間以上 → 50% ※H28 ( 32.1% )
- (6) 授業に関するアンケート満足度総ての項目総ての科目 → 85% 以上  
※ H28 年度 85%に満たない項目がいくつあったか (国 0 社 1 数 2 理 1 英 0 保体 1 芸 4 家 1 情 1)

**◎ 進路指導**

- (1) 3 年就職達成率 → 100% ※H28 ( 100% )
- (2) 3 年進学達成率 → 100% ※H28 ( 100% )
- (3) 学校評価で発達段階に応じた進路指導生徒及び保護者満足度 → 95% ※H28 ( 91.3% 89.6% )

**◎ 地域との連携**

- (1) 意識調査で自分によいところがある → 65% ※H28 ( 43.4% )
- (2) 学校評価で自己有用感生徒及び保護者 → 85% ※ H28 ( 73.3% 80.8% )

**◎ その他**

- (1) 学校評価で教員のチームワーク生徒及び保護者 → 90% ※H28 (69.2% 88.8% )
- (2) 学校評価で生徒に寄り添う姿勢生徒 → 80% ※H28 ( 70.7% )
- (3) PTA総会参加率 → 25% ※H28 ( 15% )